

人権啓発イベント

多様性の中に隠れている 見えない境界線

認め合うことから
はじめませんか

Why not start by acknowledging each other?

1月24日 2023
火曜日
13:30-16:30

(開場：12：45～)

鯉城ホール

伏見ライフプラザ5階
名古屋市中区栄1-23-13

参加無料

定員200名
申込先着順



申込フォーム

イベント内容

短編映画「TINAの物語」

基調講演「多様性の中に隠れている見えない境界線」

パネルディスカッション「認め合うことからはじめませんか」



短編映画・基調講演

(午後1時40分～午後3時)

「TINAの物語」(短編映画)

フィリピンで生まれた普通の女の子が親の都合で来日。日本で生活することを強いられ、環境の変化により価値観が自然と変わっていく。新しい環境の中で自身の存在意義を模索しながら、自分の母親に対して見えない境界線を引いてしまい、気が付けば、母と娘の間に溝が深まっていく。日本に呼び寄せた母親と呼び寄せられた娘の葛藤の物語。

「多様性の中に隠れている見えない境界線」

(基調講演)

短編映画の内容をもとに、無意識に外国人との間に引いてしまう境界線について、イベント参加者に「自分ならどうしただろう」という自分自身への問いかけを促しながら、「多様性とは何か」「認め合うためにはどうすれば良いか」等について考える。



伊藤 クリスティーナ氏

BriAsia合同会社 代表
母籍の都合により、14歳の時にフィリピンから来日。独学で日本語を習得し、フリーランスのフィリピン語通訳者として活動を始める。2016年にBriAsia合同会社を設立し、通訳・翻訳業務、外国人の学習生活自立支援を行う。

パネルディスカッション

(午後3時10分～午後4時20分)

「認め合うことから始めませんか」

私たちが「多様性」と言うとき、多様な言語や文化を本当に尊重できているだろうか？ 知らず知らずのうちに「誰を『こちら側』、誰を『あちら側』とみなすか」という見えない境界線を引いていないだろうか？ 私は「そんなことしない」とは言い切れないのではないだろうか。ディスカッションを通して、自分の見えない境界線を見つめ直すきっかけを作る。

コーディネーター

金箱 亜希氏 (愛知県尾張教育事務所 語学相談員)

パネリスト

村山 グスタボ 秀夫氏 (ManToMan株式会社 マネージャー)

ラップマ クマラ デヴィ氏 (インドネシア語通訳)

菊地 健二氏 (愛知県海部教育事務所 語学相談員)

アミ カル ハッサン氏 (ウルドゥー/バングラ/ヒンドゥー語通訳)

伊藤 クリスティーナ氏 (BriAsia合同会社 代表)

観司会

神田 すみれ氏 (多文化ソーシャルワーカー)

ご参加時のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、手洗い、マスクの着用などの対策にご協力をお願いします。熱がある方、体調のすぐれない方は、入場をご遠慮ください。



申し込み方法

下記URLの申し込みフォームに必要事項を記入の上、お申し込み下さい

<https://forms.gle/bAtsHkjj8U4FCLg2A>

申込期限 2023.1.20

いただいた個人情報は当イベント以外では使用しません。



アクセス

地下鉄「伏見」駅6番出口より南へ徒歩7分

地下鉄「大須観音」駅4番出口より北へ徒歩7分



問合わせ

愛知県県民文化局人権推進課

☎ 052-954-6167

✉ jinken@pref.aichi.lg.jp